



雪椿まつり・トレジャーハンティング in 加茂山を  
楽しむ大勢の子どもたち（4月17日）

主な内容

- 小池清彦市長 4 選 …………… ②
- 5 期目 加茂市長就任にあたって …… ③
- 平成 22 年度 加茂市表彰式 …………… ⑧ ⑨
- 加茂市教育委員会表彰式 …………… ⑩
- カメラスケッチ …………… ⑩
- 加茂の風土記 …………… ⑫

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう



## 小池清彦氏が 市長に五選されました

四月十七日告示の加茂市長選挙において、小池清彦氏の五回目の当選が決まりました。

投票日翌日の四月二十五日に、登庁セレモニーが行われました。大勢の市民と市職員が拍手で出迎えるなか、登庁した小池清彦市長は、手渡された花束を受け取り、一人ひとりと固い握手を交わしながら庁内に入り、早速、市長室で公務に臨みました。

小池清彦市長の新しい任期は、五月十日からの四年間で、五期目の小池市政がスタートしました。

# 五期目の加茂市長就任にあたって



加茂市長

小池 清彦

このたび四月十七日（日）に告示が行われた統一地方選挙の加茂市長選挙で当選させていただきました。きまして、本当にありがとうございます。

市民の皆様のご御信任を賜りまして、心から感謝申し上げます。

五期目の任期となり、ひたすら恐縮いたしておりますが、ますます市民の皆様のご御信任の重さを自覚し、心して、市民の皆様中心の真の民主的市政を推進し、よもやま話を活発に行い、市民の皆様お一人おひとりを大切にし、お幸せにしたいと存じます。

無競争でございましただけに、絶対に安易な気持ちに陥ることがないように、あえて高いハードルの公約を掲げさせていただきました。

このたび掲げました公約は、次のとおりでございますが、一生懸命努めてまいりたいと存じますので、何とぞよろしく御指導、御鞭撻くださいますよう、お願い申し上げます。

## 加茂市長小池清彦五期目の公約

みんなで市民中心の真の民主的市政を守りましょう！

加茂市にさらに大きな夢と常に新しい風を！

救命救急センターを加茂病院に！

独立を守った小京都加茂市万歳！加茂市は燦然と輝く！

○真の民主的市政を推進し、市民と市長のよもやま話を活発に行う。

○市民の皆様お一人おひとりを大切にし、幸せにする市政を推進する。

○合併で消滅せず存続した加茂市をさらに燦然と輝かせる。

○救命救急センターを加茂市内に建設することをめざす。国道四〇三号線バイパス沿いの下条の地に加茂病院を移転改築し、そこに救命救急センターを開設することをめざす。

○東北関東大震災に対する救援を全力で行う。

○高規格救急車二台を増強して四台すべてを高規格車とする。

○第三平成園の後期工事に着手する。

○加茂川と下条川の堤防のかさ上げを行う。堆積した中州の土を全部取ってもらうよう全力を尽くす。

○加茂病院の充実発展に全力をあげる。

○日本一の福祉、子ども福祉、健康施策の水準を堅持する。

○日本一の商工業支援の水準を堅持する。

○日本一の農業支援の水準を堅持する。

○日本一の自然環境保全の水準を堅持する。

○日本一のスクールバスの体制を堅持し、高い教育の水準を堅持する。

○平成二十四年度から中学校で武道が必修となるので、生徒各位が安心して授業を受けられるよう、多種目から選択できる武道の授業を行う。

○加茂市の奨学金を十分に提供する。

○中学校三年生までの医療費を入院完全無料、入学前の乳幼児を通院原則無料とする県内トップの水準を堅持する。

○新たに子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、日本脳炎ワクチン接種を無料で行う。

○在宅介護料・看護料の無料を堅持する。

○県下二十市中最低クラスの保育料を堅持する。

○県下二十市中最底の水道料を堅持する。

○介護保険料を極力安くするよう力を尽くす。

○健康診断をしっかりと行い、人工透析を支援する。

○白血病治療の骨髄移植ドナーの入院・通院を強

力に助成する。

○昨年渡り初めを行った加茂大橋をしつかりと維持運営する。

○信濃川の堤防のかさ上げという千年に一度の好機に両岸の土手に対面通行できる市道を整備した。河川敷に桃の花の公園を整備する。

○洪水ハザードマップを作成し、地震・水害等緊急事態の対策を進める。

○加茂市が採用した防災同報無線であるNTTエリアメールを円滑に運営する。

○小中学校の耐震化工事を推進する。

○加茂警察署の廃止を断固阻止する。

○国道四〇三号線バイパスの早期整備を推進する。加茂大橋建設にかけていたお金が、今後は、全部国道四〇三号線バイパスへ来るよう全力を尽くす。

○新町の商店街近代化事業（街路拡幅事業とアーケード整備事業）を推進し、雁木通りを実現する。

○加茂市の商店街を守るため、一昨年制定した郊外型大型店の新規出店を阻止する条例を堅持する。

○農機具購入費助成を行い、農家の所得補償制度を支援し、減反した場所に必ず作物をつくるという強制の撤廃に全力をあげる。

○県道出戸村松線の整備を推進する。

○若宮町・長福寺間を含む県道天神林上条線の整備を推進する。

○市道稲荷面横線の整備を推進する。

○市道黒水土倉線のさらなる整備を常に念頭におく。

○黒水の堰の川の整備に努める。

○須田の広域農道の整備を推進する。

○林道今滝冬鳥越線の整備を完了する。新規大型の林道大皆川線を完成する。

○下水道を着実に整備する。

○加茂市中が粟ヶ岳の水が飲めるようになったが、水道事業を円滑に推進する。

○体操トレーニングセンターで体操選手の育成の強化を図る。新体操教室も、支援する。

○温水プールやサッカー場をはじめ、各種のスポーツ施設の利用を盛んにし、スポーツを振興し、選手の育成の強化を図る。

○西小学校の建設をめざすことを常に念頭におく。西小学校で複式授業とならないよう国に全力で働きかける。

○知的障害者援護施設の建設をめざすことを常に念頭におく。

○文化会館では、極力国の資金を利用して、常に世界と日本のトップアーティストの招聘に努める。

○加茂市史の刊行を円滑に推進する。

○国が伝統文化子供教室をやめたので、加茂市が引き継ぐ。

○加茂市のトップ・セールスマンとして、地場産品の販路拡大に努め、桐タンスの海外進出をめざす。

○美人の湯と多くのコミュニティセンター等を豊かに運営する。

○加茂山公園、冬鳥越スキーガーデン、下条川ダム公園、粟ヶ岳県民休養地、若宮公園、二万年前旧石器公園その他の公園を豊かに運営する。

○五番町のいつフードセンターを含む地域交流センターと中央コミュニティセンターを円滑に運営する。

○西加茂等において、豪雨のときに浸水が起らないようにするため、常に全力を尽くす。

○子ども達に熊除けの鈴を無料配布し、市民の皆様にも販売する。

○道路、水路をはじめ万般にわたり市民の皆様のご要望は、すべて実現することを期する。

○国・県とのパイプをますます太くし、国・県の資金を大量に導入して豊かな市政を運営する。

○労働界と緊密に連携し、働く方々のお幸せのために一生懸命支援する。

○日本郵政(株)取締役の責務を果たし、郵政の発展

とサービスの向上につとめる。加茂市民の皆様にも役だてる。

○先般制定された国民保護法は、有事の際住民を戦闘に巻き込み、沖繩戦と同じことになる。加茂市は、「戦時平和都市宣言」を行い、赤十字の旗十万本を立て並べて、ジュネーブ条約によって市民の安全を確保することが最善の策であると考ええる。

○田上町との合併を強く主張する人達は、その後三条市に合併されることを狙っている。うかつに乗ってはならない。

○平和憲法を守り、海外派兵と徴兵制を阻止する。



# 平成22年度 加茂市表彰式



## 加茂市発展の功勞・功績に感謝

平成二十二年度の加茂市表彰式が三月二十八日、文化会館で行われました。

表彰を受けられた方は、四十五名で、いずれも各分野での功勞・功績をたたえてのものです。

表彰された方は、次のとおりです。(敬称略)

### 業務精勵

小柳幸太郎 六十年以上にわたり  
箆筒職人として精勵。後進の指導・育成と伝統工芸の継承に尽力。本町

茂野英次 五十年以上にわたり建  
具職人として精勵。後進の指導・育成と伝統技術の継承に尽力。中村

### 教育文化功勞

鈴木 繁 勤勞青少年ホーム運営  
審議会委員として十五年以上。新町二

中村敏雄 第五十四回県展および  
第六十五回県展において工芸部門  
奨励賞を受賞。新町二

廣川宗夫 青海神社伶人会会員と  
して、長年にわたり神樂舞の保  
存・継承に尽力。寿町

佐藤堅一 青海神社伶人会会員と  
して、長年にわたり神樂舞の保  
存・継承に尽力。穀町

小池静夫 長瀬神社伶人会会員と  
して、長年にわたり神樂舞の保  
存・継承に尽力。八幡三

青木茂男 長瀬神社伶人会会員と  
して、長年にわたり神樂舞の保  
存・継承に尽力。八幡一

星野栄資 天神林天満宮伶人会会  
員・会長として、長年にわたり神  
樂舞の保存・継承に尽力。天神林

細野肇一 後須田伶人会会員とし  
て、長年にわたり神樂舞の保存・  
継承に尽力。後須田第三

西村 絹 宝生流加茂葵雲会会長  
として能樂の伝承と地域文化の振  
興に尽力。松坂町







開会前に震災犠牲者へ黙とう

**浅見 睦** 宝生流むつみ会会長として能楽の伝承と地域文化の振興に尽力。栄町

**吉田 弘** 宝生流葬宝会会員として能楽の伝承と地域文化の振興に尽力。小橋一

**佐藤一紀** 詩吟神風流神葬会会長として詩吟の伝承と地域文化の振興に尽力。横江

**中野英正** 鈴慕会代表として尺八の伝承と地域文化の振興に尽力。小橋二

**上杉周平** 竹游会代表・鈴慕会会員として尺八の伝承と地域文化の振興に尽力。寿町

**皆川秀夫** 第一回から現在にいたるまで加茂市民カラオケ大会役員として大会の運営に尽力。加茂ひばり会会長として文化振興に寄与。若宮町二

### 体育功労

**福井 栄** 体育指導委員として十五年以上。上土倉

### 保健衛生功労

**鈴木一久** 献血五十回以上。矢立

**東樹義明** 献血五十回以上。後須田第三

**小林 誠** 献血五十回以上。大郷町二

**阿部一栄** 献血五十回以上。下高柳

**中居 孝** 学校薬剤師として二十年以上。本町

### 社会福祉功労

**青木政實** 民生・児童委員として十二年以上。上条

**相田祥子** 民生・児童委員として十二年以上。八幡二

### 産業振興功労

**永井賢一** 加茂市商店街協同組合役員として二十八年以上。駅前



謝辞を述べる浅野伸介さん

### 消防功労

**中野文衛** 消防団員として三十年以上。岩野

**大湊敬太郎** 消防団員として三十年以上。陣ヶ峰

**北澤岩夫** 消防団員として三十年以上。仲町

### 市行政功労

**有本キクエ** 統計調査員として十五年以上。岡ノ町

**木村敏男** 統計調査員として十五年以上。寿町

**中野利枝** 統計調査員として十五年以上。八幡一

**中村良八** 統計調査員として十五年以上。上高柳

### 特別表彰

**鶴巻忠繼** 下土倉区長として十年以上。下土倉

**中村 博** 駅前区長として十年以上。駅前

**五十嵐鐵治** 赤谷区長として十年以上。青海町一

**菅野浩衛** 第二十三区長として十年以上。第二十三区

### 自治興隆

**茂岡明與司** 市議会議員として十五年以上。中大谷

**高橋禮雄** 市議会議員として十五年以上。新町二

**大湊美代治** 農業委員会委員として二十年以上。石川二

### 保健衛生功労

**馬場賢一** 献血百回以上。新栄町

**近藤敏之** 献血百回以上。神明町一

**井伊 健** 献血百回以上。陣ヶ峰

### 社会福祉功労

**浅野伸介** 保護司として二十年以上。秋房

**川口タカ** 保護司として二十年以上。神明町一

# 平成二十二年度教育委員会表彰式

教育文化の発展・振興に寄与された方が、三月二日に表彰されました。

表彰されたのは、教育・芸術・体育の各分野に尽力されている人たちです。また、児童教育の発展に寄与されている方に感謝状が贈られました。表彰された皆さんは

次のとおりです。(敬称略)

## 教育文化功労

押見澄子 図書館協議委員として十年以上。岡ノ町

間野百合子 公民館運営審議会委員として十年以上。赤谷

## 文化功労

西方楊恵(西方恵子) 第六十五回県展書道部門において奨励賞受賞。若宮町一

## 体育功労

浅野恵未 第六十五回国民体育大会・水泳競技・少年少女B百m平泳ぎ四位入賞。神明町二

## 感謝状贈呈

## 教育文化功労

小柳由美子 長年にわたり児童への読み聞かせなどをおして読書活動に尽力。第二区

笹川綾子 長年にわたり児童への読み聞かせなどをおして読書活動に尽力。燕市



### 加茂山一斉清掃

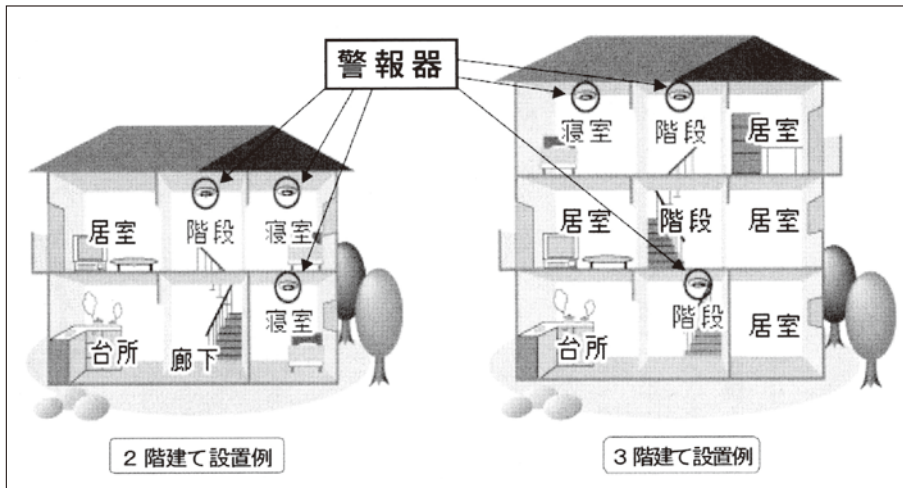
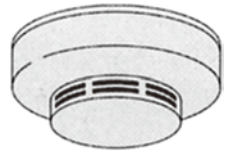
4月3日、加茂山公園の一斉清掃が行われました。大雪の影響で山陰になるところでは雪が残っていました。

### 加茂川を泳ぐコイノボリ

春の風物詩として、県内でも知られています。子供たちが触れるようにと河川敷にスレスレに泳ぐものもありました。

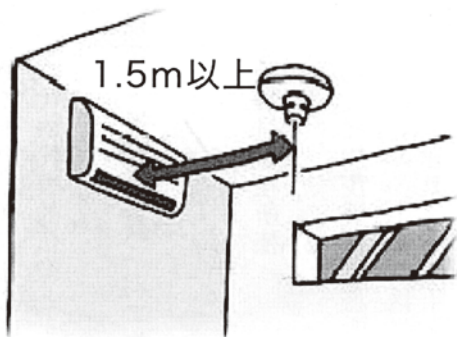
# 火災から大切な生命を守るため 住宅用火災警報器を取り付けましょう

## 住宅用火災警報器の設置が 義務づけられています

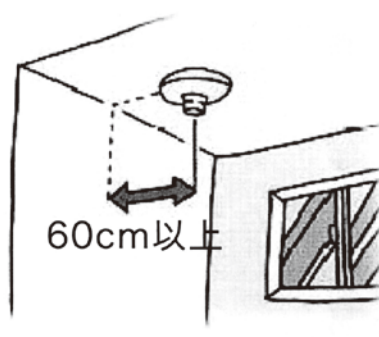


### 設置場所

- 寝室
- 寝室がある階の階段  
(3階建て以上の住宅  
はお問い合わせくだ  
さい)
- ※台所への設置もお勧  
めします



換気扇やエアコンがあるときは、1.5m以上離して取り付けてください。



天井に取り付けるときは、壁や  
はりから60cm以上離します。

### 取り付ける場所

警報器は、防災用品店、ホームセンター、家電販売店、ガス器具販売・工事店などで取り扱っています。機器の種類は光電式（寝室・階段用）とイオン化式（廊下用）の2種類があり、個人で取り付けることもできます。詳しくは、販売店、工務店などにお問い合わせください。

機器の購入、設置場所のお問い合わせは  
加茂地域消防署へ

電話 52-1770

(※110番・119番は緊急通報専用電話です。  
火災発生場所は、電話52-1233テレガイド  
でお知らせしています。)

ご注意ください!!

消防署・消防団が「住宅用火災警報器」「消火器」などを訪問販売することはありません。「消防署から来た」という言葉にはご注意ください。

# 加茂と函館の秤改役所

## 江戸時代の地方秤座

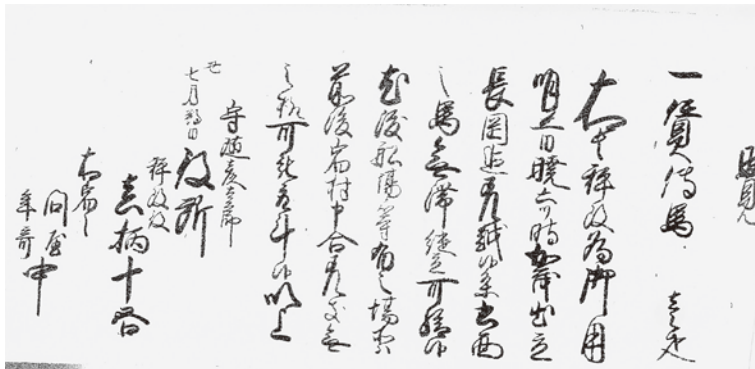
平成十年十一月号に、「秤座の加茂出張所」を紹介した。江戸時代、幕府は全国を東西に二分し、東国三十三カ国は江戸守随家しゆいけに秤さか（秤秤）の製造・販売・検定の特権を与えて管理させた。これを受けて越後や各地には守随家の秤改所とか出張所とか呼ばれる名代役なしろが置かれ業務を代行していた。

加茂での秤改役所の開設は高田、長岡、新潟に次いで越後では四番目の文政六年（一八二三）であった。真柄仁兵衛（のち八左衛門と改名）は江戸守随家で同二年からの技術習得を経て、加茂町での名代役となつて、帳付け方の四人、秤職人の西原治郎兵衛、斎藤甚兵衛など七人で秤改役所を開設した。

# 加茂の風土記

場所は明治初期の絵図から、宮小路に近い穀町北側、現在の八百枝歯科医院の辺りとわかる。新発田藩では文

政六年十一月に加茂町から四、五里に含まれる小須戸・加茂・大面・中之島・赤浜、鶴森の六カ組の大庄屋に、今後は加茂秤改役所で改めることを通知している。秤改めは実施の時期と地域を知らせて行うが、改め



秤改役真柄十吾の先触。加茂から長岡への問屋場に出された（嘉永六年七月一日）

時は役所前に高張り提灯ちやうちんを掲げ、名代役は苗字を名乗り帯刀の上、不正のないよう行つたと、慶応四年（一八六八）八月に加茂町へ進駐した新政府軍に口上書で述べている。

また秤改めに伴う町や村へ、また江戸への通行に伴う人足や馬の使用の場合、武家と同じく定められた賃金での公用通行が許されていた。加茂町に発着・通過する物資運送に携わった問屋の「人馬継立帳」が、幕末近い嘉永六年（一八五三）の一年間分が残るが、このなかに加茂秤改役所に関わる公用通行が六例ある。

当時の名代役の真柄十吾（重吾とも書く）や真柄八郎左衛門が長岡秤役所へ出向く先触さきふれを含めた記録である。駕籠かごの人足や秤荷を積む馬の賃金がお定めおさだめの賃金で支払われている。蝦夷地えぞちと呼ばれた松前や箱館（函館）の経済活動が盛んになってくる。この地にも秤改役所が開かれた。ここには加茂町の問屋を勤めた涌井佐右衛門が隠居後の文久元年（一八六一）に蝦夷地にわたり、真柄十吾と阿部徳太夫の介添えで、慶応二年（一八六六）に箱館で開設している。加茂の人や産物の蝦夷地進出の魁もといであった。

（関 正平）



大震災後、さまざまなイベントが延期となりましたが、トレジャ―ハンティングには大勢の子供たちから参加していただきました。

### 人口のうごき

4月1日現在  
世帯 10,168 (-2)  
人口 30,508 (-84)  
男 14,734 (-41)  
女 15,774 (-43)  
( )内は前月比  
(3月異動分)  
出生 14 (男5女9)  
死亡 36 (男20女16)  
転出 140 転入 78